

今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ データ集(案)

I. ネットワークのあり方

1) ネットワークのあり方を考える基本的視座

(1) 現行計画の経緯と達成状況……………P1～4

- ① 整備のスピード
- ② 整備目標の達成状況

(2) 時代認識とネットワークを再考する基本理念

(近年の社会経済情勢の変化と今後の展望) …………… P5～8

(東日本大震災からの教訓)

(ネットワークを再考する基本理念)

- ① 人口減少局面での国土の再編・強化
- ② 国土の信頼性向上

(3) 基本理念から導かれる機能要請 …………… P9～13

- ① 大都市、ブロック中心都市を強化し、連携を図る
- ② ゲートとなる空港・港湾との連結性を高め、アクセスを強化
- ③ 主要な都市間・地域間について、走行性が高い国道も活用しつつ、連絡速度60km/h～80km/h程度のサービスレベルを確保
- ④ 災害時にも機能するネットワークを確保

2) 現状の評価と今後の重点

(1) 新たな機能要請に照らしたネットワークの現状評価 …………… P14～28

(2) 今後重点的に取り組むべき課題

- ① 「日本経済を牽引する拠点地域」として、大都市・ブロック中心都市におけるネットワークの緊急強化
- ② 「繋げてこそそのネットワーク」を改めて認識し、脆弱な地域を助ける「命の道」を早期に確保

(3) その他取り組むべき課題

- ① ICアクセス(主要な空港・港湾、鉄道駅への連絡など)の強化
- ② 高速道路と並行する国道の一体的な対応

3) 整備・管理のあり方

(1) これまでの整備・管理負担の経緯 P29～32

(2) 整備・管理の基本的な考え方

① ミッシングリンクの解消

② 既設道路の機能強化

③ 維持管理 P33

(3) 整備目標・整備プロセスの扱い

① 整備目標の明確化

② 整備プロセスの透明化 P34

③ 事業評価手法の改善 P35

II. 今後の料金制度のあり方

1) 今後の料金制度の基本的な考え方

(1) 基本とする料金制度

① これまでの料金制度の経緯 P36

② 今後の基本とする料金制度 P37～38

(2) 償還の考え方

① これまでの償還の考え方と償還期間の変遷 P39

② 今後の償還のあり方 P40

2) 今後の料金施策の方向

① これまでの料金割引 P41～42

② 今後の料金施策の方向 P43～47

3) 料金制度にかかる当面の課題

(1) 当面の料金割引(全体(本四高速を除く)) P48～49

(2) 本四高速の料金

① 整備・料金のこれまでの経緯 P50～53

② 今後の料金のあり方 P54～59

4) その他料金制度・施策を巡る課題

(1) 大都市部を中心とした有料道路利用のETC車への限定

(2) 柔軟な料金システムの構築

(3) 様々な主体とタイアップした料金割引の取組

(4) 債務償還状況等の定期的な確認と利用者への
適切な還元

Ⅲ. その他

- 1) 道路網体系の再構築
- 2) 新しいナンバリングの導入等
- 3) コスト縮減の徹底
- 4) 道路の維持、管理、更新等に係る新たな負担のあり方 P60～61

(参考)これまでの料金施策の評価

- 1) 無料化社会実験 P62～65
- 2) 上限料金制(休日1000円) P66～69